学校番号	3010

令和5年度 工業（プロダクトデザイン） 科

教科	工業	科目	クラフト実習	単位数	4 単位	年次	2 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

４つの班に分かれガラス、陶器、木材といった各種素材の研究や、パソコンを使用した３次元CAD ソフトウェアの学習をローテーションで行います。実習を通じて造形活動の知識と技術を学び、それぞれの素材の特性や機能を理解し作品を制作します。
履修条件
なし

2　学習の到達目標

ガラス、陶器、木材といった各種素材の特性を理解し、それを生かした作品制作を行う。パソコンによる３次元CAD ではRhinoceros を使用しリアルなモデリングができる技術を修得する。それぞれの知識・技術を身に付け、今後の制作活動に活用することを目標とする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ガラス、陶器、木材などの素材そのものやその加工方法、3 次元CADの操作・活用の知識、技能を身に付けて今後の制作活動に役立てる。	素材加工・道具の使用方法を身に付け、制作においてより良い方法を判断できる。また、それらの技術を適切に活用し、自分の考えを作品にて表現できる力を養う。	プロダクトデザイン分野に関する技術向上をめざして自ら学び、広い視野で工業技術の発展に主体的に協働して取り組む態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	ステンドグラス照明	・ペンダントライトか　デスクライトのどちらかを選択 ・パネルデザイン ・ガラスカット、研磨・銅テープによる組立 ・照明器具の取り付け ・金属金具の加工 ・はんだによる組立	a: ガラス素材とその加工技術について適切な理解ができている。 b: 自分のアイデアを適切に表現する思考・判断ができる。 c: ガラス素材とその加工技術について関心を持ち作品制作に意欲的に取り組むことができる。	学習状況の観察 作品レポート	学習状況の観察 アイデアスケッチの提出 作品レポート	学習状況の観察 課題の提出状況 作品レポート
	陶器	・アイデア出し・石膏原型の制作 ・石膏雌型の制作 ・粘土の鋳込み ・素焼き ・色付け ・本焼き	a: 素材・加工技術について適切な理解ができている。 b: 自分のアイデアを適切に表現する思考・判断ができる。 c:素材・加工技術について関心を持ち作品制作に意欲的に取り組むことができる。	学習状況の観察 作品レポート	学習状況の観察 アイデアスケッチの提出 作品レポート	学習状況の観察 課題の提出状況 作品レポート
2	傘の取手	・アイデアスケッチ ・スタイロフォームでの　試作 ・木材選定・木材加工 ・オイルフィニッシュ	a: 木材とその加工技術について適切な理解ができている。 b: 自分のアイデアを適切に表現する思考・判断ができる。 c:木材とその加工技術について関心を持ち作品制作に意欲的に取り組むことができる。	学習状況の観察 作品レポート	学習状況の観察 アイデアスケッチの提出 作品レポート	学習状況の観察 課題の提出状況 作品レポート
3	ライノセラス	・３次元CAD ソフトウェア Rhinoceros（ライノセラス）の基本的な使い方 ・アイデア出し ・ライノセラスによる「小容器」の制作 ・Flamingo nXt によるレンダリング・平面ボードへ貼り付け	a:Rhinocerosの基本的な使い方を理解できている。 b:自分のアイデアを適切に表現する思考・判断ができる。 c: Rhinocerosに興味を持ち、その仕組み・技術について積極的に学び、作品制作に意欲的に取り組むことができる。	学習状況の観察 作品レポート	学習状況の観察 アイデアスケッチの提出 作品レポート	学習状況の観察 課題の提出状況 作品レポート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度